

北九州市の文化財を守る会 報

No.55 61. 5. 15
 発行 北九州市の文化財を守る会
 北九州市小倉北区鍛冶町一丁目7-2
 森 鷗 外 旧 居 内
 電話 (093) 531-1604
 印刷 博文堂印刷所
 北九州市小倉北区長浜町2-22
 電話 (093) 511-1011

第三十二回バスによる文化財めぐりは小倉南支部の担当です。今回は糸島地方をめぐる三世紀の邪馬台国は伊都国に一大率を置いたといえます。その伊都国の中心地である前原の三雲・平原等の古跡を尋ねる、皆様待望のバスです。奮ってご参加下さい。

日時 六月一日(日)雨天決行
 参加料 一人につき 五千五百円
 募集人員 四十五人(先着順)
 締切日 五月二十五日(日)
 申込方法 参加料を添えて事務局まで。
 申込先 小倉北区鍛冶町一丁目
 森鷗外旧居内
 北九州市の文化財を守る会事務局
 電話 五三一―一六〇四
 小倉駅北口
 出発時刻 午前八時三十分
 昼食 不要(参加料を含む)
 帰着予定 午後七時
 見学箇所 丸隈山古墳―怡土城跡―高祖城跡
 曾根遺跡―三雲遺跡―千如寺―伊都国資料館―元寇防壁

丸隈山古墳 昭・三・二・七国史 福岡市西区周船寺
 古墳中期の前方後円墳
 寛永六年に発掘され、大正三年に改修された。横石積み石室に組合せ式石棺二個が並ぶ。はじめ一個のものがダブルベッド式に改装したものらしい。

怡土城跡 昭・一三・八・八国史 銅器、人骨
 跡指定、昭・一九・六・一平原遺跡「方形周溝墓」、弥生末期古墳前期
 前原町高祖、大門、高来寺
 奈良時代中期(着工七五六、完成七六八)築城

曾根遺跡群 昭・五六・一〇・二 三国史跡指定
 規模、長さ一三m、幅八mの方形台地に、方形の土溝を掘り、中央に幅一m、長さ三m

去る四月二十六日(土)午後二時より、市立視聴覚センター大研修室において、昭和六十一年度の総会が会員約五十名の出席をみて開催された。まず、門司副会長の開会のことばのあと、小林会長のあいさつがあったが、就任以来一年の感想を述べたなかで、今年三月四日に物故された顧問の久保田瑞一氏、またつい先日、四月二十日に逝くなられたこの会の創始者でもあり、顧問でもあった劉寒吉氏について、その業績をたたえ、ともに、深い哀悼の意を捧げた。

ついで、議長に米津副会長を推して議題に入り、事務局より昭和六十一年度の決算報告及び業務報告がなされた。特に会報第五十四号に掲載された座談会「永照寺」については、米津議長からも補足説明がなされた。

つづいて、大神監事より監査結果の報告があり、疑義の点なく、一括承認された。昭和六十一年度の予算及び業務計画も事務局より逐次、説明があったが、本年度事業として、目下「北九州四百年展」に取り組んでいることに、特に会員の協力を願ったほか、万場一致で可決された。その他の項では、新会員となった戸畑区の服部氏から、入会の動機とともに、会の活発化について積極的な発言があり、また門司支部長吉岡氏より猿喰新田「潮ぬき穴」の保存についての提案があった。会としてとりあげることとした。

最後に、米津議長より現在会員数は三、四百人であるが、これを百万都市にふさわしい会員数にしようとのアピールがあった。

議事終了後、映画「明治維新への歩み」が上映された。

「北九州四百年展」は戦国末期から北九州市成立に至る四百年余の期間を対象として、遺跡・文化財・図版・写真等を展示し、北九州発展の経過を広く市民一般に理解して貰うと同時に、北九州のすぐれた文化的足跡の昂揚と郷土に対する愛情を培うために、開催されるものです。

展示方法は、時代順に四コーナーに大別し、それぞれをまた小コーナーに別け、日本歴史のなかの北九州四百年を鮮明にするよう試みています。

出品数は約三百余点、重要文化財も交えて、この時代を如実に物語ります。

〇展示コーナー
 (一)豊臣秀吉の九州平定
 北九州の豪族割拠から、秀吉の九州進攻による平定、大名配置までの様相をさぐります。
 (二)藩政時代
 関ヶ原合戦から、徳川による大名配置下、豊前・筑前の武士と庶民の生活を重点を置き、殖産興業、交通、文化などいろいろな角度から封建制を見つめる。

バスによる文化財めぐり

新羅政策の一環として高祖山一帯に延長一・六kmの土塁を築いて太宰府の前線基地とした。太宰大式吉備真備が専任した。
 特色1. 中国式山城の特色を採り入れた築城法。
 特色2. 盲水門
 特色3. 土塁、土のみの所、石塊を混ぜてかためた所、外面の中段まで石垣積みみの所、地形に応じて変化。
 天慶の乱(九三九〜九四一)以降廃城。
 高祖城跡 建長元年(一二四九)築城、城主 原田種継
 怡土城を利用して築城し、天正十五年(一五八七)より、三三九年間、糸島及び福岡市西部を支配し、戦国の時代を生き抜いた原田一族の居城。
 豊臣秀吉の筑前攻めにあい、名じ真城主小早川隆景軍に攻撃され落城、一族四散し原田勢力が糸島から消滅した。その後、一時期小早川領となり、その後黒田領、公領、中津領と対馬領に分割される。

の割竹形木棺が安置されていた。中国大陸の墓制が韓半島を経て日本に流入されたと推定される。
 出土品、内行花文八葉鏡(日本最大、径四六・五cm)他、銅鏡四〇面、勾玉三個、丸玉千個、小玉、剣一刀。この墳墓は一箇所から出土し鏡の板数は日本一。
 2三雲遺跡群(弥生時代古墳時代)「伊都国時代の中心地」前原町三雲
 弥生時代、中国大陸と文化交流を持ち、いち早く古代国の形態を造った地方と言われている。
 昭和四九年から五三年にかけて、伊都国遺跡の発掘調査がなされ、多くの遺跡・出土品が判明し、日本考古学界に貢献した。

主要遺跡1三雲南小路遺跡。
 2井原ヤリ溝遺跡。3端山古墳。4築山古墳。5古墳前期前方後円墳。
 眞言宗別格本山雷山千如寺
 天平十四年建立の「勅願寺」
 仏像 重要文化財
 1木造千手観音立像(四・五四cm)
 2木造清賀上人座像(七〇cm)
 福岡県最古の資料館
 昭和三年完成
 展示品。土器時代、2縄文

編集後記
 会報五十五号は総会報告とバスによる文化財めぐりを主題にしました。次号は小倉北支部の担当です。よろしくお願ひします。
 本年度会費(過年度未納の分も一緒に)振替用紙を同封しました。納入方を願ひいたします。
 〓このところ会員が減少の傾向にあります。新会員の勧誘にご協力のほどを。
 〓新緑の候になりました。バスハイクにふるってご参加ください。(係)

見学地略記

新羅政策の一環として高祖山一帯に延長一・六kmの土塁を築いて太宰府の前線基地とした。太宰大式吉備真備が専任した。
 特色1. 中国式山城の特色を採り入れた築城法。
 特色2. 盲水門
 特色3. 土塁、土のみの所、石塊を混ぜてかためた所、外面の中段まで石垣積みみの所、地形に応じて変化。
 天慶の乱(九三九〜九四一)以降廃城。
 高祖城跡 建長元年(一二四九)築城、城主 原田種継
 怡土城を利用して築城し、天正十五年(一五八七)より、三三九年間、糸島及び福岡市西部を支配し、戦国の時代を生き抜いた原田一族の居城。
 豊臣秀吉の筑前攻めにあい、名じ真城主小早川隆景軍に攻撃され落城、一族四散し原田勢力が糸島から消滅した。その後、一時期小早川領となり、その後黒田領、公領、中津領と対馬領に分割される。

の割竹形木棺が安置されていた。中国大陸の墓制が韓半島を経て日本に流入されたと推定される。
 出土品、内行花文八葉鏡(日本最大、径四六・五cm)他、銅鏡四〇面、勾玉三個、丸玉千個、小玉、剣一刀。この墳墓は一箇所から出土し鏡の板数は日本一。
 2三雲遺跡群(弥生時代古墳時代)「伊都国時代の中心地」前原町三雲
 弥生時代、中国大陸と文化交流を持ち、いち早く古代国の形態を造った地方と言われている。
 昭和四九年から五三年にかけて、伊都国遺跡の発掘調査がなされ、多くの遺跡・出土品が判明し、日本考古学界に貢献した。

主要遺跡1三雲南小路遺跡。
 2井原ヤリ溝遺跡。3端山古墳。4築山古墳。5古墳前期前方後円墳。
 眞言宗別格本山雷山千如寺
 天平十四年建立の「勅願寺」
 仏像 重要文化財
 1木造千手観音立像(四・五四cm)
 2木造清賀上人座像(七〇cm)
 福岡県最古の資料館
 昭和三年完成
 展示品。土器時代、2縄文

編集後記
 会報五十五号は総会報告とバスによる文化財めぐりを主題にしました。次号は小倉北支部の担当です。よろしくお願ひします。
 本年度会費(過年度未納の分も一緒に)振替用紙を同封しました。納入方を願ひいたします。
 〓このところ会員が減少の傾向にあります。新会員の勧誘にご協力のほどを。
 〓新緑の候になりました。バスハイクにふるってご参加ください。(係)

新刊紹介
 北九州森鷗外記念会では、このほど、文豪森鷗外の小倉在住時代の活動とその意義などをまとめた「森鷗外・小倉時代入門」を出版しました。地元の郷土史家や作家、評論家たちの共同執筆による本書は、鷗外研究と北九州文化史研究の一助となるものです。是非お手元に一冊を。
 〓新書版 一二〇頁 六百元

昭和60年度決算報告

北九州市の文化財を守る会

Table with columns for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenditure), including sub-headers for '予算額' (Budget) and '決算額' (Actual). Rows include '前年度繰越金', '会費', '雑収入', and '合計'.

昭和61年度予算

Table with columns for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenditure), including sub-headers for '予算額' (Budget) and '内訳' (Details). Rows include '前年度繰越金', '会費', '雑収入', and '合計'.

△主な出品物▽
関ヶ原合戦・大名 細川忠興ロ
ーマ字印書状、黒田長政書状、細
川三斎父子筆跡など。
城(築城関係) 城山と黒崎湊
版木絵図、黒田二十五騎画像、中
ノ島城など。
武器・武具 紀一族関係刀工用
具鍛冶装束、三階菱紋入鍔など。
武士と庶民の生活 検地帳、藩
札、緋陣羽織、宗門帳、雨蓑、千
木、駕籠など。
殖産興業 石原宗祐火事装束、
小倉縮、蠟皿、洞海湾漁業鑑札、
堀川条目など。
交通 白洲燈台古図、絵馬、木
屋瀬宿之図、黒崎宿割帳、妙見
丸入港図など。
文化 即非所持品、黄檗三筆の
書、木造松尾芭蕉像、俳諧捉書、
源唯行(木食上人)書、画像、棟
札など。
(三)幕末維新期
尊王攘夷運動のなかでの、長州
藩と小倉藩の対立、版籍奉還から
廢藩置縣までの激動期を描きます。
△主な出品物▽
香春藩大参事辞令、戊辰戦争肩
印、平井小左衛門の奥羽出兵時の
関係品、エンフィールド銃、農兵
抱大砲など。
『豊国名所』幕末の小倉城下
祇園社、樹木松、小倉城下鳥瞰
図、小倉城下図など。

祭り 小倉祇園水引幕、しびぎ
せ祭のお供物、楽衣裳、獅子頭な
ど。
四近代
近代日本創成の原動力となった
北九州の産業、石炭と鉄を中心と
紹介します。
△主な出品物▽
石炭、鉄 炭坑用具、貯炭荷役
写真、八幡製鉄初期写真など。
交通関係 門司港地図、若松港
図、九州鉄道、豊州鉄道、関門海
底鉄道トンネル、西鉄(九軌)関
連写真など。
建造物 北九州市内の主な洋風
建築の写真など。
文化 産須根神考、佐野経彦画
像、蓮門教碑拓本、到津村氏子札
など。
人物 森鷗外をはじめ明治から
現在までの著名人十数人のパネル
写真、色紙、著書など。
歌舞伎、映画 北九州を取材と
した歌舞伎、映画の看板、シナリ
オ・ポスター・スチールなど。
戦争と北九州 明治10年小倉連
隊軍旗奪う図、明治18年末髪会図、
八幡空襲の惨状写真、召集令状、
戦死公報、軍隊手帳、陸軍認識票、
伝単、千人針、陶製、竹製ボタン、
貯蓄債券、衣料切符、慰問袋セッ
ト、戦争中の紙幣、軍服、軍帽、
「宣戦布告」「戦争終結の大詔」
当時の新聞等。

新指定文化財の紹介

北九州市は去る二月一日、昭和
六十年指定文化財として、次
の一件を文化財に指定しました。
これで市内の指定文化財は、国
指定五件、県指定四十三件、市指
定四十六件のあわせて九十四件と
なりました。
有形文化財(建造物)
北九州市八幡東区西本町
一丁目二〇番二号
北九州市(管理) 下水道
局)
形状 鉄筋コンクリート一部二
階建
延床面積二八四、五九㎡
(一階二〇九、三二㎡、
二階七五、二七㎡)
この建物は、大正四年十二月、
日本近代建築の推進者の一人であ
った辰野金吾が主宰する辰野・片
岡建築事務所的设计、監督で建て
られたもので、営業室・金庫室(
二階建)・管理室(二階建)の三
部からなる小規模な造りである。
銀行支店という性格上、室内意匠
に見るべきものはないが、外観は
煉瓦造の壁体に、玄関、柱頭、窓
は若松支店(明治三十一年七月開
設)の八幡派出所
として、明治三十
七年十月現在の八
幡東区春の町五丁
目内に開設された。
この派出所の開設
は八幡における近
代銀行の草分けで
もあった。同三十
九年十二月西本町
に新築移転と共に
八幡支店に昇格、
さらにこの建物(
現在の北東約八
十米の位置)を新
築し移転した。大
正十二年十一月、
合同により安田銀
行八幡支店となり、
百三十銀行八幡支
店は消滅した。その後昭和十四年
十一月まで、この建物は安田銀行
が使用している。
なお、第二次大戦後、八幡市が
戦災復興事業(昭和二十年〜三十
四年)で現在地に移設(家引き)
し、現在は下水道局の資材倉庫に
なっている。
△指定の事由▽
日本の近代建築史の発展過程と
共に、北九州市の近代化の過程を
知る資料として、極めて貴重な遺
構である。

